

平成28年度事業計画

I 基本方針

我が国の人口は、平成20年の1億2,808万人をピークに減少しており、今後も減少傾向が続くと予想されています。このような人口減少社会の中で社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくとともに、高年齢者の希望をかなえ、高年齢者が豊かな生活を送れるようにするため、働く意欲のある高年齢者が、年齢にかかわらず生涯現役で活躍し続けられるような雇用・就業環境を整えていくことが必要不可欠です。

そのためには、高年齢者の就業ニーズの変化・多様化に対応し、受託事業はもとより労働者派遣事業による就業機会の開拓促進や、介護・保育分野の職域拡大が必要になってきます。

これらのことを考えると、シルバー人材センター事業は、急増する高年齢者の多様な社会参加の受け皿として、非常に重要な役割を担っているといえます。

しかしながら、シルバー人材センター事業を取り巻く社会環境は、目まぐるしく変化し、先行きの見えない不安定な状況が続いております。

こうした中、当センターでは、平成27年度に策定した3ヶ年の第3次中期計画に基づき「魅力あるシルバー人材センター」を目指し事業を進めて参ります。本年度はこの計画の2年目として、6つの柱を立てて事業に取り組んで参ります。

II 基本目標

①会員組織の整備及び活性化

◇事業目標

1. 会員数1,090名を目標に会員1・1運動（会員1人が1人の入会促進運動を行う）を展開し、会員の増強に努めます。あわせて、地域班活動の活発化や、入会説明会の内容の充実、60歳以上の一般市民を対象にしたグラウンドゴルフ大会の開催など、センター事業の普及啓発を行います。

2. 公平・公正な仕事の分かち合いを進め、就業率の向上を図ります。

3. ゆりの会（福祉・家事援助・子育てサービス班）組織を構築し、受注に的確に対応できる体制を整えます。

4. 事業拡大並びにクレーム撲滅に向け、地域班長、職群班長、各種委員を対象とした研修を行い、センター運営に対する意識の高揚を図ります。

5. 後継者育成のために、定期的に講習会を開催し、技術の向上を図ります。

6. 会員相互の連帯意識を高めることで、退会者抑制につなげていきます。

そのためには、センター行事（総会・ボランティア活動・霧島国分夏祭り・初午祭・シルバーフェスタ・サークル活動・同好会等）へ積極的に参加します。

7. 統合10周年を迎えることから、実行委員会を組織し、記念イベントを実施します。

②事務局組織の整備及び安定的な財政運営

◇事業目標

1. 業務の点検を行い、事務を最大限簡素化・効率化し、企画・営業・管理業務に重点を置いた事務局体制を構築します。
2. ICT（情報・通信に関する技術の総称）を活用した就業支援システムを構築し、企業や家庭の求めるサービスと会員の能力を生かした就業希望との円滑なマッチングを推進する。
3. 本部事務所のあり方について本格的に協議に入るとともに、各地区事務所のあり方についても検討を進めます。
4. 理事がセンターでの役割を分担し、責任を持って取組んでいくための、理事会の専門部会制度及び理事自らが活動する委員会制度などの体制づくりを行う。

③就業機会の開拓・創出及び確保

◇事業目標

1. 「自主・自立」の原点に立ち返り、会員自身も仕事の開拓に取り組む必要があるため、1会員1仕事開拓に取り組めます。
2. 新規補助事業に積極的に取り組めます。
3. 指定管理施設の公募に対しても積極的に応募し、就業機会の拡大に努めます。
4. 就業開拓委員会をさらに活性化させ、職員と就業開拓委員が一体となって、事業所への就業開拓を進め、派遣事業での就業先の確保に努めます。
5. 独自事業について、収支のバランスを考えた事業展開を行います。
6. 8月に普及啓発の一環として広報誌を発行し、会員・市民へ向けて情報の提供を行います。
7. ホームページの有効活用を図ります。
8. 長寿会や民生委員会と連携をとり、ワンコインサービスを含む福祉・家事援助サービスの周知を図ります。

④安全就業の徹底

◇事業目標

1. 安全就業の徹底を図り、傷害、賠償事故0を目指します。
2. 毎月第4木曜日を安全の日と定め、安全適正就業委員会を中心に、作業現場への安全パトロールを行います。また、安全指導専門員を委嘱し、不定期でのパトロールも実施し、指導を徹底します。
3. 事故の要因分析と再発防止策のフォローアップを行います。
4. 安全だよりを発行し、会員の安全に対する意識を高めます。
5. 安全に対する意識の高揚を図るため、優良会員表彰を行います

⑤適正就業の徹底

◇事業目標

1. 長期就業について、ローテーション就業を推進します。
2. 完全請負制定着のための取り組みを進めます。
3. 就業マニュアルを作成し、下見、見積、契約の締結等業務フロー（流れ）にそって就業を行います。

⑥関係機関との連携強化

◇事業目標

今後もさらに行政と連携を深め人的支援をお願いしていきます。あわせて、地域の団体及び各地区のふるさと会（関東・関西）とも連携を強化し、シルバー人材センターに対する理解の浸透を図り、事業拡大につなげます。